



# ユツユツ とことん

大仙市立太田中学校  
令和3年10月5日  
NO. 70



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



心の中で感謝するだけなら 本当の感謝ではない  
自分の行動の中で感謝を示そう

セルバンテス(スペインの作家)

一人一人の感謝の気持ちは 確かに 届いたはずですよ！

## 「さ・わ・や・か」の花が咲きました

これぞ秋晴れという晴天の下、子どもたちはもっとやりたいこと、発信したいこと、気持ちを表したいことなどもあったのでしようが、それもままならない入場制限を伴う縮小版の令和3年度の「太中祭」を無事開催することができました。

できることとできないことを確認しながら、可能な中で子どもたちの主体性を尊重し（職員はその支援に徹し）ながら迎えた「太中祭」でしたが、生徒会執行部を先頭に、『気付き、考え、実行する』太中生の姿があり、一人一人が太中祭テーマの実現に向けて準備段階からがんばっている様子や楽しそうに活動している様子が印象的でした。（公開当日以上に準備活動を保護者の皆様にお目にかけたかったのですが、お目にかけれなかったことが残念です）

長い間教員を務めておりますが、自分たちの力で、悩み苦しみながらも試行錯誤して成長していく姿を目にできるこの期間を今年もまた過ごすことができました。教師冥利の一つ、うれしい限りです。特に

今年も、コロナ禍の様々な制約を受けた中での活動であり、特別で複雑な感情も湧いています。

「太中祭」の最後に、生徒会長の高階冨さんが述べた言葉に今年の「太中祭」の全てが凝縮されていると言っても過言ではないと思っています。



~~~~~  
私たちは「All for All~この瞬間に最大の思いを~というテーマの下、自分たちがどのようにすれば感謝の気持ちを伝えられるのかを一人一人が一生涯懸命考えて、合唱練習や各部門の活動に取り組んできました（最後に私たちの感謝の気持ちを込めた「群青」を歌います）。私たちの感謝の気持ちが皆さんに届いているとうれしいです。

コロナウイルスの影響で昨年度よりも規模縮小で行いましたが、このような状況の中でも行えたことが特別で、皆さんや私たち一人一人の記憶に、より鮮明に残っていくと思います。太中祭を行うことができてよかったです。これからも、地域に貢献できる太中生、地域に寄り添った学校を目指してたくさんの活動に取り組んでまいりますので、応援、ご協力よろしくお願いします。

~~~~~  
お客様をお見送りした子どもたちの表情は達成感でいっぱいでした。思い出づくりが少ない今年の忘れられない1日になったことでしょう。